臨牀透析 ●総目次
第 36 巻
Vol.35 No.1〜No.13
（2020 年 1 月号〜12 月号）

◉特　集

《特集一覧》

1 月号　透析患者の感覚器障害
2 月号　透析液・透析関連排水の諸問題
3 月号　腎代替療法と Shared Decision Making
4 月号　世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療
5 月号　近未来の透析医療
6 月号　透析患者の脳血管障害
7 月号　透析患者 PAD の最前線
8 月号　バスキュラーアクセス
　　―トラブルを少なくするために
8 月増刊号　血液浄化機器 2020
9 月号　・透析患者における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
　　・透析患者の ADL と QOL
　　―その評価法と対策
10 月号　高齢透析患者の療養生活支援
　　―事例を通して見えてくるもの
11 月号　慢性腎臓病・透析患者の酸化ストレス
　　―最新知見と治療展開
12 月号　高齢透析患者の栄養管理

■ **1 月号（vol.36 no.1）　透析患者の感覚器障害**

1. 透析患者の感覚器障害
　鈴木　正司　9〜15
2. 視覚障害
　(1) その実態
　檀上　陽子　17〜21
　(2) 視覚障害の対策・援護
　山田　幸男・岩原由美子
　三留五百枝・小島紀代子
　大石　正夫　22〜26
3. 味覚障害
　(1) その実態
　田中　彰　29〜36
　(2) 薬剤と味覚障害
　愛場　庸雅　37〜42
　(3) 透析患者における亜鉛欠乏と亜鉛補充療法
　永野　伸郎・藤本　裕子
　村田　優香・溜井　紀子
　伊藤　恭子・筒井　貴朗　43〜48
4. 嗅覚障害
　(1) その実態
　三輪　高喜　49〜54
　(2) 薬剤性嗅覚障害
　谷口賢新郎・太田　康　55〜60
　(3) 嗅覚と味覚の関連性
　城田　直子・金澤　良枝
　高橋　俊雅・中尾　俊之　61〜65
5. 腎疾患と聴覚障害
　後藤　大樹・加藤　明彦　67〜72
6. 神経障害のある足のフットケア
　小江奈美子　73〜78

［コラム］
・透析治療と眼圧
　長沼　俊秀・仲谷　達也　27〜28

■ **2 月号（vol.36 no.2）　透析液・透析関連排水の諸問題**

1. 透析液清浄化
　(1) 日本透析医学会「2016 年版 透析液水質基準」の概要
　川西　秀樹　111〜122
　(2) 透析用水作製装置管理基準の重要ポイント
　阿瀬　智暢　123〜130
　(3) 基準達成のための手順書の作成と管理の実際
　内野　順司　131〜140
　(4) 統計調査からみた「2016 年版 透析液水質基準」の達成度
　政金　生人　141〜146
　(5) 残留塩素濃度測定の実際

2026/11/11 09:08:18

菅野　有造　147〜152
2. 透析液濃度の適正管理
(1) 透析液濃度測定標準化の基本的な考え方
小久保謙一・清水　康
村上　淳・山家　敏彦　153〜158
(2) 標準化に基づく透析液濃度管理の実際
村上　淳　159〜167
(3) 標準化に伴う透析液濃度調整における注意事項
山家　敏彦　169〜174
3. 透析関連排水の適正管理
(1) 透析装置の洗浄排水に関する東京都下水道局の対応
高橋　明宏　175〜180
(2) 透析関連排水管理の現況（アンケート調査の結果）
宍戸　寛治・内野　順司
友　雅司・峰島三千男　181〜185
(3) 透析関連排水の適正管理に関する基本的な考え方
峰島三千男　186〜190

■3月号（vol.36 no.3）

腎代替療法と Shared Decision Making

1. Shared Decision Making の意義
会田　薫子　211〜217
2. 腎代替療法の選択における Shared Decision Making のあり方
小松　康宏　219〜225
3. 治療選択支援と Shared Decision Making の課題
内田　明子　227〜232
4. 透析見合わせに関する Shared Decision Making の諸問題
岡田　一義　233〜237
5. CKD 連携体制における SDM の実際
光宗　仁美　239〜243
6. CKD 保存期における SDM の実際
今城　博枝　245〜250
7. 血液透析患者に対する SDM の実践―血液透析時間の短縮を望む高齢患者へのアプローチ
白井美千代・舩越　哲　251〜255
8. 腹膜透析患者に対する SDM の実践
今井　早良　257〜262
9. 在宅で療養する高齢 CKD 患者に対する SDM の実践
尾﨑　直子・田畑陽一郎
山下　淳一・吉田　正美
後藤　真希　263〜268
10. 腎移植における SDM の現状と課題
河野　恵　269〜274
11. 終末期透析患者に対する SDM
高井　奈美　275〜280
12. SDM ツールの開発
小坂　志保　281〜287

■4月号（vol.36 no.4）

世間の荒波にもまれる CKD-MBD 治療

Editorial
特集の主旨　秋葉　隆　311〜312
1. CKD-MBD の診断
(1) 骨病変の診断技術―テトラサイクリン標識に基づく骨形態計測を中心に
風間順一郎　313〜320
(2) 生化学的診断
加藤　一彦・中島　章雄
横山啓太郎　321〜328
(3) 慢性腎臓病に関連したロコモ・フレイルの成因と予防
今井　教雄・遠藤　直人　329〜336
2. CKD-MBD の治療
(1) リン低下薬
小岩　文彦・天笠　允仁　337〜346
(2) PTH 低下薬―calcimimetics を中心に
本田　浩一　347〜355
(3) ビタミン D 製剤再評価
濱野　高行　356〜362
3. CKD-MBD の疫学
(1) 骨折の疫学
山本　卓　363〜368
(2) 生命予後との関係
木全　直樹・若山　慈恵　369〜374
(3) QOL への影響
渡辺　久美・上月　正博　375〜379
4. 腎移植前後の CKD-MBD 治療
(1) 術前にどこまで治療すべきか
服部　元史　381〜385
(2) 腎移植後の CKD-MBD 治療
木村　貴明・八木澤　隆　386〜391
［コラム］
・ROD から CKD-MBD への変遷
鈴木　正司　380
・ビスホスホネート製剤は CKD-MBD に適用できるか？
① 賛成の立場から
稲葉　雅章　392〜395
② 反対の立場から
風間順一郎　396〜398

2026/11/11 09:08:18

■5月号（vol.36 no.5） 近未来の透析医療

1. 近未来の透析医療
(1) 医師の立場から
川西　秀樹　427〜432
(2) 臨床工学技士の立場から
本間　崇　433〜438
2. 未来の透析室・透析機器の展望
(1) 近未来のダイアライザ，ヘモダイアフィルタの開発
山下　明泰　439〜444
(2) ナビゲーション透析システムの可能性
峰島三千男　445〜451
(3) 血液透析装置の近未来
山下　芳久　453〜458
(4) 災害時に使用可能な携行型血液浄化装置
小久保謙一・小林こず恵
山根　隆志・山本健一郎
松田　兼一　459〜464
3. AI・ICTを用いた透析管理
(1) Explainable AIを用いた腎性貧血治療の適正化
友杉　直久・越野　慶隆　465〜470
(2) AIを用いたCKD患者の食事療法管理
神田英一郎　471〜476
(3) AIを用いた血糖管理
豊田　雅夫・村田　敬　477〜484
(4) AIを用いた急性腎障害の発症予測と診断
林　晃正　485〜490
(5) これからの腹膜透析データ管理
森本　耕吉・伊藤　裕　491〜496
(6) 地域医療としての遠隔透析管理
風間順一郎　497〜502
［コラム］
・回帰型ニューラルネットワークを用いた早期AKI診断
小丸　陽平・土井　研人　503〜504
・人工材料を用いない自家細胞製人工血管の可能性と将来展望
伊藤　学　505〜506

■6月号（vol.36 no.6） 透析患者の脳血管障害

1. 脳血管障害の疫学
戸井田達典　529〜534
2. 脳血管障害の診断
植木　香奈・松尾　龍
吾郷　哲朗　535〜543
3. 脳血管障害の危険因子とその管理
(1) 血　圧
藤﨑毅一郎　545〜548
(2) 貧血およびESA治療
四枝　龍佑　549〜554
(3) CKD-MBDと脳卒中
山田　俊輔・荒瀬　北斗
嶋本　聖　555〜560
(4) 脂質異常症
庄司　哲雄　561〜566
4. 心房細動例に対する抗凝固療法
鶴屋　和彦　567〜574
5. 頚動脈狭窄症に対する外科治療
大川　将和　575〜581
6. 脳出血に対する急性期治療
落合　秀信　583〜588
7. 脳梗塞に対する急性期治療
公平　瑠奈・豊田　一則　589〜592
8. くも膜下出血に対する急性期治療
松川　東俊・吉村　紳一　593〜597
9. 脳血管障害急性期の透析法
江里口雅裕　599〜604
10. 脳血管障害に対するリハビリテーション
村松　倫・藤谷　順子　605〜609
11. 無症候性脳血管障害
長沼　俊秀・武本　佳昭　611〜617

■7月号（vol.36 no.7） 透析患者PADの最前線

1. 日本におけるPADに対する取り組み
小林　修三　643〜650
2. 透析患者におけるPADの現況
日髙　寿美　651〜658
3. 透析患者におけるフットケア介入
愛甲　美穂　659〜664
4. 末梢動脈の血流評価
(1) 皮膚再灌流圧（SRPP）
前田富士子・奥野　仙二
佐野　彩季・坂井　久美
北村　悠樹・山川　智之　665〜669
(2) 超音波検査を用いた末梢動脈の血流評価
原口　和樹・川﨑　友裕
大久保洋平・古賀　伸彦　670〜676
5. 血行再建術
(1) 透析患者のPADに対する血管内治療（EVT）
村上　厚文・洞口　哲
加藤　盛人　677〜683
(2) 透析患者の救肢をめざすdistal bypass術
谷村　信宏・藤原　一郎
山本　浩詞・安宅　啓二　684〜690

2026/11/11 09:08:18

6. 再生医療
(1) 末梢血幹細胞移植
堀江　卓　691〜697
(2) 脂肪組織由来間葉系前駆細胞移植
都築　一仁・清水　優樹
柴田　玲・室原　豊明　698〜703
(3) PAD に対する新しい遺伝子治療薬―コラテジェン
森下　竜一　704〜712
7. 局所療法
(1) 難治性潰瘍を伴う末梢循環障害に対する高気圧酸素治療の有効性
宮本　正章　713〜718
(2) デブリードメント―マゴット療法
萩原　慎・佐久田　斉
大木　隆生　719〜723
(3) 局所陰圧閉鎖療法
藤井　美樹　724〜728
8. 切 断 術
菊池　恭太　729〜735

■8月号（vol.36 no.8） バスキュラーアクセス ―トラブルを少なくするために

1. バスキュラーアクセスの現状
川西　秀樹　757〜762
2. いつバスキュラーアクセスを作製するか？
花房　規男　763〜768
3. バスキュラーアクセスを成功させるために術前に必要なこと
布川　雅雄　769〜773
4. バスキュラーアクセスと心機能
鵜川豊世武　775〜780
5. バスキュラーアクセス作製のアルゴリズム
池田　潔　781〜786
6. AVF の適応と問題点
宮田　昭　787〜794
7. AVG の適応―実践と工夫
丸井　祐二　795〜802
8. 動脈表在化の適応と問題点
室谷　典義・白鳥　享
大森　聡・石井　公祥
杉原　裕基　803〜806
9. 長期留置カテーテル留置法の適応と長期ケア
肥田　徹・小川　智也
寺尾　政昭・安田　邦彦
阿部　望・清水　泰輔
長谷川　元　807〜815
10. バスキュラーアクセスと超音波診断
春口　洋昭　817〜824
11. VAIVT（vascular access interventional therapy）法
土井　盛博　825〜833
12. 透析シャントの末梢血管および中心静脈に対するステント留置
堀田　祐紀・役田　洋平
池田　正寿・名村　正伸　835〜845
13. バスキュラーアクセスによる合併症とその対策
(1) 術後合併症（狭窄など）
今　裕史・植田　隆太
阪田　敏聖・佐藤　文昭　847〜853
(2) 感 染 症
前多　香・森兼　啓太　854〜859
［コラム］
・ボタンホール
新里　高弘・柴田　和彦
當間　茂樹　860〜861
・小児のバスキュラーアクセス
幡谷　浩史　862〜863

■8月増刊号（vol.36 no.9） 血液浄化機器 2020

序論―血液浄化器に関連する法規
峰島三千男　881〜883
第Ⅰ章　血液浄化器
1. 血液浄化器性能評価基準
峰島三千男　884〜889
2. 透 析 器
村上　淳　889〜892
3. 血液濾過器，血液透析濾過器
柴田　昌典　893〜896
4. 持続緩徐式血液濾過器
塚本　功　897〜899
5. 血漿分離器・血漿成分分画器
大久保　淳　900〜904
6. 血液吸着器
岩本ひとみ・古賀　伸彦　905〜908
7. 血漿吸着器
金山　由紀　909〜912
8. 腹水濾過器・濃縮器
渡邊　恭通　913〜916
第Ⅱ章　透析装置
1. 多人数用透析液供給装置
髙木　政雄・及川　陽平
盛　次生・合田　祐一　928〜933
2. 透析装置（コンソール）
星野　武俊　934〜938
3. 透析装置（各種自動化装置）
田岡　正宏　939〜944
4. 透析装置（各種モニタ）
大澤　貞利　945〜950
5. オンライン HDF 装置（I-HDF も含

2026/11/11 09:08:18

む）
山本　英則　951〜953
6. 個人用透析装置
菅野　有造　954〜959
7. 血液濾過装置・血液濾過透析装置
門崎　弘樹　960〜962
8. 粉末製剤溶解装置
石森　　勇　963〜967
9. 在宅血液透析装置
村杉　　浩　968〜971
10. 配管・素材等
山本　　淳　971〜975
11. 透析排水処理装置（pH 中和装置，浄化槽）
内野　順司　976〜983
12. 透析熱回収装置
野木　雅仙　984〜987
第Ⅲ章　透析通信システム
森實　篤司　993〜998
第Ⅳ章　アフェレシス装置
1. 血漿交換装置・血漿吸着装置
山家　敏彦　999〜1003
2. 血液吸着装置
山家　敏彦　1004
3. 持続的血液浄化装置
塚本　　功　1005〜1008
4. 血液成分分離装置
井福　武志・竹内　正志　1009〜1011
第Ⅴ章　腹水濾過濃縮灌流装置
大久保　淳　1015〜1018
第Ⅵ章　腹膜透析関連機器
1. 腹膜透析液
根岸　光彦　1019〜1020
2. 自動腹膜灌流装置
根岸　光彦　1020〜1023
3. 関連物品
根岸　光彦　1023〜1024
4. シェアソース
金　　学粋・森谷しのぶ
土橋　弥生　1025〜1027
第Ⅶ章　水処理装置
1. プレフィルタ
土濃塚広樹　1032〜1034
2. イオン交換装置，軟水化装置，純水化装置
久保　　満　1035〜1038
3. 活性炭濾過装置
芝田　正道　1039〜1040
4. 逆浸透装置
山下　文子　1041〜1046
5. 個人用水処理（RO）装置（HHD 用も含む）
五十嵐洋行　1047〜1050
6. 電解水透析® 透析用水作製装置
植村　　進・湊　千笑　1051〜1053
7. その他（UF 膜，EDI，排水回収，排熱回収など）
山本　英則　1053〜1055
第Ⅷ章　透析液，補充液
1. 血液透析液
松金　隆夫　1069〜1071
2. 血液濾過用補充液
松金　隆夫　1071〜1072
第Ⅸ章　抗凝固薬
山下　芳久　1074〜1077
第Ⅹ章　透析液清浄化関連機器等
1. 透析液水質基準と管理
内野　順司　1078〜1084
2. エンドトキシン捕捉フィルタ（ETRF）
本間　　崇　1085〜1088
3. エンドトキシン測定関連機器
芝本　　隆　1089〜1092
4. 細菌測定関連機器等
楢村　友隆　1093〜1101
5. 細菌培養培地
楢村　友隆　1102〜1105
第XI章　血液回路
安藤　勝信　1110〜1113
第XII章　血管アクセス
1. 血液浄化用穿刺針
人見　泰正　1114〜1116
2. 血液浄化用留置カテーテル
相馬　　泉　1117〜1121
3. 人工血管
春口　洋昭　1122〜1123
第XIII章　輸液ポンプと注入器
1. 輸液ポンプ・シリンジポンプ
小川　浩之　1137〜1144
2. ナトリウム注入器
小川　浩之　1144〜1146
第XIV章　体 重 計
1. 体 重 計
神戸　幸司　1147〜1149
2. スケールベッド
神戸　幸司　1149〜1151
第XV章　モニタリング機器
1. 浸透圧計
高橋　　初　1153〜1155
2. 電解質（Na・K）測定器
清水　　康　1155〜1156
3. 血液ガス分析装置
真下　　泰　1157〜1158
4. 心電計・心電図モニタ
田代　嗣晴　1159〜1161
5. 自動血圧計
田代　嗣晴　1161〜1162
6. 抗凝固モニタ（ACT）等
山下　芳久　1163〜1167

2026/11/11 09:08:18

7. 緊急用検査機器（i-STAT®）
原田　俊和　1167〜1169
8. 各種体組成分析装置
長尾　尋智・白木　康雄
伊神　隆介・神崎　将克
武安美希子・渡辺　明美　1169〜1172
9. 末梢循環測定装置
黒澤　　洋・海老原　至
庭山　　淳　1172〜1175
10. 超音波診断装置（穿刺，シャント・血管管理）
木船　和弥　1175〜1178
11. 透析出血感知センサ
矢野　利幸・原田　孝司
舩越　　哲　1178〜1179
第XVI章　消毒液，洗浄液，排液処理
1. 機器用消毒剤・洗浄剤
星野　武俊　1194〜1196
2. 熱水消毒
星野　武俊　1196〜1200
3. 生体・皮膚の消毒
中山　裕一　1200〜1203
4. 室内の消毒
中山　裕一　1203〜1205
第XVII章　透析関連物品
1. 透析セット（消毒用セット，穿刺部位保護・固定用セット）
花本　昌一・江村　宗郎　1210
2. 止血器具
花本　昌一・江村　宗郎　1211
3. テープ類（穿刺針および回路固定用テープ，絆創膏など）
花本　昌一・江村　宗郎　1212
4. 鉗子類（ペアン）
花本　昌一・江村　宗郎　1213
第XVIII章　非常用備品・設備
1. 非常用備品
森上　辰哉　1225〜1226
2. 非常用設備
森上　辰哉　1226〜1227
3. 離脱用具
森上　辰哉　1228〜1229
4. 地震および水害等の対策（機器・設備対策含む）
森上　辰哉　1230〜1231
第XIX章　患者自己管理機器
1. 家庭用血圧計
渋谷　泰史　1232
2. 体 重 計
渋谷　泰史　1233
3. 血糖自己測定器
一噌登史紀　1234〜1235
4. 歩数計・活動量計
一噌登史紀・佐藤　　諒　1235〜1236
5. 塩 分 計
一噌登史紀・楢岡　擁実　1236〜1237
6. 持続血糖測定器
矢野　利幸・原田　孝司
舩越　　哲　1237
第XX章　滅 菌 法
大石　義英　1238〜1240
第XXI章　装置の保守・点検
土屋　智一　1241〜1246

■9月号（vol.36 no.10）
緊急特集
透析患者における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
緒　　言
秋葉　　隆　1263〜1264
1. 日本と世界における COVID-19 の現状と感染対策
森兼　啓太　1265〜1275
2. 透析患者における COVID-19 の現況と透析施設での感染対策
菊地　　勘　1277〜1283
3. COVID-19 の診断と治療
四柳　　宏　1284〜1290
4. COVID-19 と急性腎障害（AKI）・急性血液浄化
小丸　陽平・土井　研人　1291〜1298

特　　集
透析患者の ADL と QOL－その評価法と対策
1. 透析患者における患者報告アウトカム（PRO）－ADL と QOL の評価法を中心に
加藤　明彦　1301〜1308
2. ADL と QOL の評価法
(1) 基本的 ADL と手段的 ADL
松沢　良太　1309〜1315
(2) 機能的自立度評価法（FIM）
矢部　広樹　1316〜1321
(3) 運動耐容能
森山　善文　1322〜1326
(4) 身体機能・筋力の評価
山越　聖子・伊藤　　修　1327〜1332
(5) 転倒・骨折リスク
山本　　卓・白井　信行
北林　　紘・成田　一衛　1333〜1340
(6) 摂食・嚥下機能
國枝顕二郎・藤島　一郎　1341〜1346
(7) 健康関連 QOL
山本　洋介・福原　俊一　1347〜1352
3. ADL と QOL 低下の予防と対処法
(1) 運動療法

2026/11/11 09:08:18

内田　広康　1353〜1358
(2) 食事・栄養療法
奥田　絵美・中川　幸恵　1359〜1365
(3) 看護支援
西田　　歩・佐藤　久光　1366〜1373
(4) 血液浄化療法の工夫
金岡　泰行　1374〜1379

■10月号（vol.36 no.11）

高齢透析患者の療養生活支援
―事例を通して見えてくるもの

1. 総　論
(1) 高齢透析患者が抱える療養上の諸問題
中原　宣子　1389〜1396
(2) 高齢透析患者の社会制度の現状と課題
中元　秀友・西山　　強　1397〜1408
2. 各論―実践報告
(1) 認知症を呈する患者の療養生活支援
吉見美穂子　1409〜1413
(2) サルコペニア・フレイルの合併を予防する視点からの療養支援
時山　美江　1415〜1420
(3) 高齢透析患者の嚥下障害と対応
前岡　雄輔・安田奈緒子
小関　裕二・朝倉　洋平
堀田　直樹・安田　　香
両角　國男　1421〜1427
(4) 独居生活を送る高齢透析患者の療養生活支援と課題
大森　　泉　1428〜1432
(5) 高齢腹膜透析患者の療養支援と課題―患者・家族を支えるためのチーム医療と地域連携
濵井　　章　1433〜1438
(6) 高齢在宅血液透析患者の療養生活支援
門嶋　洋子・宮下　美子　1439〜1444
(7) 高齢透析患者の人生の最終段階における看護
田中　順也　1445〜1450
(8) 高齢透析患者の家族支援・地域連携―高齢者が地域で生活していくための家族・地域のサポート
山口　伸子　1451〜1455
(9) 高齢透析患者に対する地域連携・コーディネーターとしての役割
松本　佳行　1457〜1462

■11月号（vol.36 no.12）

慢性腎臓病・透析患者の酸化ストレス
―最新知見と治療展開

企画にあたって―酸化ストレスをめぐる最近の展開
平山　　暁　1493〜1495
1. 総論・透析
(1) 血液透析における酸化ストレスとその制御
大和田　滋　1497〜1505
(2) 腹膜透析における酸化ストレスとその制御
植田　敦志　1506〜1512
(3) 腎移植と酸化ストレス
芦田　　明・服部　元史　1513〜1519
2. 慢性腎臓病における酸化ストレス進展機序
(1) 慢性腎臓病における Nrf2-Keap1 経路の役割
伊東　　健・葛西　秋宅　1521〜1527
(2) 慢性腎臓病における一酸化窒素（NO）
木戸口　慧・西山　　成　1528〜1533
(3) 慢性腎臓病進展における AGEs
田中誠太郎・大野　礼一
永井　竜児　1534〜1538
(4) 慢性腎臓病患者の腸内細菌叢と酸化ストレス
三島　英換・菊地　晃一
阿部　高明　1539〜1545
(5) 慢性腎臓病におけるキサンチンオキシダーゼの活性化
寺脇　博之　1546〜1552
3. 慢性腎臓病の病態と酸化ストレス
(1) 腎臓リハビリテーションと酸化ストレス
山越　聖子・伊藤　　修　1553〜1557
(2) 腎発癌における酸化ストレス
豊國　伸哉　1558〜1564
(3) サルコペニア・フレイルと酸化ストレス
加藤　明彦　1565〜1572
(4) CMD-MBD と酸化ストレス
岩崎　香子・深川　雅史　1573〜1579
(5) CKD 患者の薬剤と酸化ストレス
西　　慎一　1580〜1585
［コラム］
・自己組織化抗酸化剤による腎虚血再灌流障害治療
長崎　幸夫　1587〜1589
・電解水透析と酸化ストレス
渡邉　公雄・中山　昌明　1590〜1591

2026/11/11 09:08:18

■ 12 月号（vol.36 no.13） 高齢透析患者の栄養管理

高齢透析患者の栄養障害はなぜ起こるのか
加藤　明彦　1601〜1602
［総　論］
1. 透析導入期の栄養状態・栄養療法に関する諸問題
花房　規男　1603〜1608
2. 高齢維持透析患者の栄養状態の現状と課題
神田英一郎　1609〜1616
3. 食事量低下に伴うミネラル，ビタミン，微量元素の異常と対策
脇野　修　1617〜1624
［各　論］
4. 認知症患者の食生活と栄養管理
瀬戸　由美　1625〜1630
5. オーラルフレイルの実態と栄養管理
市川　和子　1631〜1638
6. 透析日・非透析日に応じた栄養管理
島田千賀子・海老原　至　1639〜1644
7. 高齢血液透析患者における食料品アクセス問題と栄養状態との関連
北林　紘・片野　佑美
小田　祐子・池田　良
石井　雄士　1645〜1651
8. 高齢腹膜透析患者の栄養管理
加藤　明彦　1653〜1660
9. 栄養教育のための指導媒体とその有用性
射場裕美子　1661〜1665
10. 運動リハビリテーションと栄養
吉澤　亮・前波　輝彦　1666〜1672
11. 低栄養患者への栄養補給法の実践
（1）経口的栄養補助（ONS）
朝倉　洋平・安田　香
堀田　直樹　1673〜1678
（2）IDPN　川畑　奈緒　1679〜1684
［コラム］
・透析中の栄養補給
市川　和子　1685〜1686
・電解質異常と死亡リスク
脇野　修　1687〜1688

◉OPINION

1 月号（vol.36 no.1）
変わる常識
藤垣　嘉秀　7〜8
2 月号（vol.36 no.2）
オーバーナイト透析
中野　敏昭　109〜110
3 月号（vol.36 no.3）
生活習慣のモニタリング
斎藤　知栄　209〜210
4 月号（vol.36 no.4）
医師の表現力
小林　修三　309〜310
5 月号（vol.36 no.5）
Chasm 考
安藤　康宏　425〜426
6 月号（vol.36 no.6）
救急医がみた透析の世界
服部　憲幸　527〜528
7 月号（vol.36 no.7）
チーム医療
辻本　吉広　641〜642
8 月号（vol.36 no.8）
ポストコロナ時代の透析医療
―看護の力が問われる時代がくる
下山　節子　755〜756
9 月号（vol.36 no.10）
COVID-19 と診療応招（義務）
佐藤　壽伸　1259〜1260
10 月号（vol.36 no.11）
オールドノーマルと守破離
濱野　高行　1387〜1388
11 月号（vol.36 no.12）
太田和夫先生の著書“透析療法の歴史―先人達の軌跡をたどって”から，予想外の繋がりへ
佐々木　環　1491〜1492
12 月号（vol.36 no.13）
COVID-19 感染対策と診療の両立
小林　竜　1599〜1600

◉症例による透析患者の画像診断

1 月号（vol.36 no.1）
維持血液透析患者に発症したフルニエ壊疽の 1 例
鈴木　梨江・宮岡　良卓
高橋　秀幸・和田　貴彦
長井　美穂・長岡　由女
菅野　義彦　87〜90
2 月号（vol.36 no.2）
血液透析患者に発症した粟粒結核の 1 例

2026/11/11 09:08:18

宮里　紘太・髙島　弘至
鄭　　立晃・田中　裕也
阿部　雅紀　197〜201

3月号（vol.36 no.3）
深腸骨回旋動脈末梢枝動脈瘤破裂をきたしたMPO-ANCA陽性顕微鏡的多発血管炎の1例
平塩　秀磨・佐藤　彩加
山田　有美・正木　崇生　297〜301

4月号（vol.36 no.4）
外傷性血胸を発症した腹膜透析患者の1例
秋谷友里恵・古川　哲也
北井　真貴・奈倉千苗美
阿部　雅紀　413〜417

5月号（vol.36 no.5）
腹部CTがPKDの腎嚢胞感染の診断に有用であった1例
影山美希子・岩瀬茉未子
荒川　　洋・植田　敦志　515〜519

6月号（vol.36 no.6）
維持透析患者に発症した感染性心内膜炎の1例
齋藤　　優・宮岡　良卓
永井麻梨恵・和田　貴彦
福原　祐樹・菅野　義彦　629〜633

7月号（vol.36 no.7）
胸鎖関節敗血症性関節炎に対して鎖骨の骨掻爬術・腐骨切除が奏効した1例
持田　泰寛・守矢　英和
小林　修三　743〜747

10月号（vol.36 no.11）
維持血液透析患者に発症した進行性多巣性白質脳症の1例
千葉　祐貴・小山　千佳
小島　慶恵・吉田　　舞
大江　佑治・岡本　好司
藤倉　恵美・長澤　　将
西山　修平・割田　　仁
中道　一生・宮崎真理子　1473〜1476

◉ケース・スタディ

1月号（vol.36 no.1）
急性腎障害回復後に腎性尿崩症を続発した1例
宇山　聡子・井口　太郎
佐々木美緒・白鳥　君利
島崎めぐみ・高野橋誓子
山田　　慶・戸川　　証　81〜86

2月号（vol.36 no.2）
左室肥大を伴う心不全を発症した維持血液透析患者の1例
金子　真以・石淵　絹人
岩倉　孝政・深澤　洋敬
古谷　隆一　191〜196

3月号（vol.36 no.3）
呼吸促迫で異常を認知した急性腎障害の1例
林　　早紀・安田日出夫　289〜295

4月号（vol.36 no.4）
発熱，咳，倦怠感を契機に入院した急性腎障害患者の1例
山田　俊輔・恒吉　章治
松本　英展・中野　敏昭　403〜411

5月号（vol.36 no.5）
横隔膜交通症をきたした腹膜透析患者の1例
稲熊　大城・成宮　利幸
平野　恭子・小出　滋久
湯澤由紀夫　507〜514

6月号（vol.36 no.6）
AVG（arteriovenous graft）感染後に徐脈を呈した血液透析患者の1例
清水　芳男・若林　啓一
岸田　千晶・大熊　輝之
鈴木　祐介・富野康日己　619〜627

7月号（vol.36 no.7）
出口部感染遷延のためのPDカテーテル抜去後に腹膜炎を認めた1例
村上　雅章・森　　潔
木村　翔太・藤原　祐一
山本　凱大・森　　典子　737〜742

10月号（vol.36 no.11）
急速な骨髄病変の進行を伴ったネフローゼ症候群の1例
髙柳　俊亮・遠藤修一郎
石井　　輝・松原　　雄
柳田　素子　1463〜1472

◉話題・論点

4月号（vol.36 no.4）
新型コロナウイルス
本田　浩一　399〜400

透析医療と新型コロナウイルス感染症
森下　義幸　401〜402

2026/11/11 09:08:18

◉研究・報告

1月号（vol.36 no.1）

〔症例報告〕視神経脊髄炎に対し，選択的血漿交換を施行した1例
加藤　彰浩・加藤　浩介
見須　有祐・山田　孝子　91〜94

〔研究報告〕維持血液透析患者におけるシナカルセトからエボカルセトへの変更後の有用性の検討
志内　敏郎・村上　真也
川原　和彦　95〜100

8月号（vol.36 no.8）

〔症例報告〕血液透析回路中の可塑剤DEHPに対して，アナフィラキシーショックを起こしたことが疑われた血液透析患者の1例
渋谷　論之・岩﨑　圭右
海老原正行・安部えりこ
原　美朋・竹下　康代　864〜867

10月号（vol.36 no.11）

〔研究報告〕外来透析施設における運動療法の導入に関する問題点と対応策 ― 理学療法士不在の施設における取り組み
杉本　浩子・石川友美子
山田　直美・榊原　愛子
中村　京子・石本　恵
山口　慶子・畦倉　久紀
矢部　広樹　1477〜1484

◉研究会報告

1月号（vol.36 no.1）

第30回 日本サイコネフロロジー研究会
舩越　哲　79

◉追　悼

1月号（vol.36 no.1）

酒井　糾先生の旅立ちを偲んで
鈴木　正司　6

本誌の本年1年間の編集委員，編集協力者は以下のとおりです．また，本誌の刊行にあたりご協力いただきました皆様に深く感謝申しあげます．〔(株) 日本メディカルセンター〕

■編集委員

鈴木　正司　原田　孝司　秋葉　隆　伊丹　儀友　小松　康宏　西　慎一
中山　昌明　加藤　明彦　花房　規男　下山　節子　水附　裕子　佐藤　久光
中原　宣子　三村　洋美　市川　和子　齋藤かしこ　峰島三千男　山下　芳久

■編集顧問

川口　良人　浅野　泰　宇田　有希　（敬称略）

■創刊以来ご尽力いただいた歴代編集委員

前田　貞亮（故人）　黒川　清　佐藤喜一郎　中川成之輔（故人）
酒井　糾（故人）　大平　整爾（故人）　平澤　由平*（故人）
春木　繁一*（故人）　落合　福江　吉岡　典　足立　悦子　臼井　昭子
安西志保子　川崎　忠行　赤間　立枝　（敬称略，*：特別編集委員）

2026/11/11 09:08:18